

同帰亭要語録

賢人は八風と申して八つの  
風にをかされぬを賢人と申す  
なり。利衰毀誉称譏苦樂なり。  
おほむねは利あるによろこば  
ず。衰ふるになげかず等の事  
なり。此八風にをかされぬ人  
をば必ず天まもらせ給ふなり

風で軽いものは風の吹く度に動かされて少しも安定せぬが、どつしりと重い物は如何なる強い風が吹いてもビクともせず安定しています。確固たる信念をもつた人は決して其の周囲の為に動かされず、終始一貫よくその道を守つてゆける

名ケテ風ト為ス。苟クモ  
心ニ主アリテ正法ニ安住  
シ、愛憎ノ為ニ惑乱セラ  
レザレバ、即チ八風モ動  
カスコト能あたハザルナリ』  
と、説かれています。

その八風とはこの御妙判に  
あるとおり、利衰毀誉称譏苦

其の人の前で非難することです。苦楽というものは何事にもあるものであります。凡夫といふものは利益称樂を愛してやまざ。衰毀譏苦を嫌つて之を避けんがために常に心を労するものです。かくして互いに相争い、争いに勝つため

「開導聖人は、信心は運のつよくなるものなれば信心を第一として今日をいとなみ給へば、信行故に心が動かされる」とはあります。

も成就するもの也と思召す  
べし



當山草創 第八世講有  
日歡上人

佛立第八世講有  
當山草創 日歡上人御會式  
奉修導師 本庄日堂導師

清流ニシテズ

発行所  
八王子市子安町1-22-25  
清流寺  
清流ニュース編集室  
電話(042)646-0287(代)

本年度教化誓願達成・学徒・教務員増加  
日堯上人五ヶ年報恩御奉公・寺内境内整備御有志運動推進  
高祖二降誕八〇〇年慶讚本山大法要・參詣御奉公成就  
令和5年度総祈願  
甲乙御講願主増加・御講・御總講・御会式参詣推進  
教養会活動充実  
励まし声かけ助行・積極的御法門聴聞・御利益感得口唱実践

このようなご奉公ぶりが口  
檀家にも通じて、朝参詣もだい  
だん増え、現証ご利益もどく  
どん出るようになり、ご弘通  
も発展し、乗泉寺の基礎を築  
かれたのです。

上人への報恩謝徳の厚い志をもつて参詣させていただきましょう。

5月14日  
10時30分

佛立第八世講有  
當山草創 日歎上人御會式  
奉修導師 本庄日堂導師  
於羽村別院

本年歎尊会は、当山教務  
部の本庄日堂導師が奉修導師  
をお勤めになります。

「日歎上人の御事」

さて、当山草創と仰ぎ、又  
乗泉寺中興開基（古いお寺を  
再興）とも尊称申し上げる日  
歎上人のご弘通のご事蹟をご  
披露させていただきます。

日歎上人は、明治廿七年  
(一八九四)七月一日に、第  
二世講有日聞上人より剃刀を  
うけ第四世講有日教上人の二  
番弟子として得度されました。  
日歎上人が、乗泉寺第十八  
世住職としてご就任されたの  
は明治三十四年十二月下旬、  
おん年、三十三歳でした。

入寺されたのは、翌、明治  
三十五年一月で、その当時の  
乗泉寺は、寺とは名ばかりで  
前の住職は逐電（にげてゆ

くえをくらますこと)してしま  
い無住(住職がない)状  
態で、本堂や庫裡の畳は、雨  
漏りのためボロボロ、勿体な  
くも内陣には单(ネズミ)が  
出入りするありさま、御尊像  
のご礼盤(らいばん)は、古い塔婆を打ち  
つけ、紙を張つてごまかすと  
いう。想像を絶する状態でし  
た。

日歎上人のご信念、ご信条をご披露させていただきます。

一、私は、日本中、誰にも負けないよう、沢山御看経をさせていただこう。

一、私は、日本中、誰にも負けないよう、御弘通をさせていただこう。

一、私は、日本中、誰にも負けないよう、大尊師の教え通りに信心で押し通させていただこう。

この三つを心に誓われ、奉公遊ばされ、あの大乗泉寺の基礎を築かれたのであります。申すまでもなく、当山は日歎上人のご薰董くんとうを受けているわけですから、日歎上人のご恩を忘れてはなりません。

年に一度、羽村別院に於て奉修される歎尊会には、日歎

五月の朝参詣強調週間は  
第七ブロック（東村山教区）  
第八ブロック（昭島教区）第  
九ブロック（西多摩教区）オー  
ストラリア教区・クイーンズ  
ランド組のご弘通発展、主に  
教化誓願が言上されます。

五月二日（火）東村山教区

三日（水）昭島教区

四日（木）清流寺祈願助行

五日（金）西多摩教区

六日（土）クイーンズランド組

となつております。